

# 2023年度環境経営レポート

(対象期間： 2023年11月 1日 ～ 2024年10月31日 )



## 株式会社豊田緑化苑

発行日： 2025年6月20日

## 目次

1.	組織の概要	1
2.	対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	1
3.	環境経営方針	2
4.	環境経営目標	3
5.	環境経営計画	4
6.	(1) 環境経営計画に基づき実施した取組内容	5
	(2) 実施体制図及び役割・責任・権限表	6
7.	(1) 環境経営目標の実績	7
	(2) 環境経営計画の取組結果とその評価	8, 9, 10, 11
	(3) 次年度の環境経営目標	12
	(4) 次年度の環境経営計画	13
8.	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	14
9.	代表者による全体の評価と見直し・指示	14

# 1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 豊田緑化苑  
代表取締役 神谷 重雄

(2) 所在地

本 社 愛知県豊田市宮上町8丁目109番地の1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 都築 政紀 TEL：0565-31-0886  
担当者 総務 八木 ゆかり FAX：0565-35-2062

(4) 事業内容

造園設計・施工、緑地管理、土木施工  
造園工事業 愛知県知事許可（特定-3）第5759号  
土木工事業 愛知県知事許可（一般-3）第5759号  
産業廃棄物収集運搬 愛知県許可 第02800059259号  
※自社運搬のみ

(5) 事業の規模

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	250	231	428
従業員	人	16	17	19
床面積	m <sup>2</sup>	243	243	243

(6) 事業年度 2023 年度 2023年 11月1日 ～ 2024年 10月31日

(7) 有資格者

1 級造園施工管理技士 3名（建設業法）  
2 級造園施工管理技士 3名（建設業法）  
1 級土木施工管理技士 2名（建設業法）  
2 級土木施工管理技士 1名（建設業法）

# 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

登録組織名 : 株式会社 豊田緑化苑  
対象事業所 : 本 社

活 動 : 造園設計・施工、緑地管理、土木施工  
対象期間 : 2023 年度 2023年 11月1日 ～ 2024年 10月31日  
発行日 : 2025年 6月20日

## 3. 環境経営方針

### 1. 企業理念

地域社会から信頼される、誇りある企業

### 2. 行動指針

1. 我々はお客様を第一に考え、満足いただける仕事をします。
1. 我々は、伝統技術を大切に、新しい技術を持って生活環境を創造します。
1. 我々は、常に創意工夫をもって仕事にあたり、経営の健全化を図ります。
1. 我々は社会ルールを守り、目標に向かって粘り強く努力します。

### 3. 環境経営方針

当社は、造園工事業として、常に環境保全を意識し、自然環境への影響に配慮しながら業務を遂行することにより、地域社会から信頼される企業をめざします。そのため全社員一丸となって、環境経営システムの構築及び運営を行うことにより環境保全活動を自主的・積極的に推進します。

(1) 当社に、適用される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

(2) 環境経営を推進するため、次の事項について具体的な環境経営目標・環境経営計画を定め実施します。

- ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素の排出量を削減します。
- ②事業に伴う廃棄物排出量を削減し、リサイクルの推進に努めます。
- ③節水につとめ水使用量を削減します。
- ④グリーン商品の購入の促進を図ります。
- ⑤地域貢献活動を積極的に行います。
- ⑥環境に配慮した設計・工法の推進に努めます。
- ⑦化学物質使用量の適正管理に努めます。

(3) 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます。

2009年10月21日 制定

2018年11月 1日 改定

株式会社 豊田緑化苑  
代表取締役 神谷重雄

## 4. 環境経営目標

環境目標		単位	基準年	2023年度	2024年度	2025年度
			2022年度	目標値	目標値	目標値
二酸化炭素排出量の削減						
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2		32,328	32,005	2023年度実績の	2024年度実績の
		基準値		- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
1) ガソリン使用量の削減	ℓ		6,300	6,237	2023年度実績の	2024年度実績の
				- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
2) 軽油使用量の削減	ℓ		4,360	4,316	2023年度実績の	2024年度実績の
				- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
3) 電気使用量の削減	kWh		12,933	12,804	2023年度実績の	2024年度実績の
				- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
4) LPG使用量の削減	kg		146	146	146	146
廃棄物排出量の削減	t	一般廃棄物排出量の削減	259	256	2023年度実績の	2024年度実績の
				- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
産業廃棄物排出量の削減	t		56	55	2023年度実績の	2024年度実績の
				- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
水使用量の削減		m <sup>3</sup>	173	173	173	173
			10年平均			
グリーン購入の推進（事務用品）		%	90	90	90	90
地域活動貢献	清掃活動	回	2	2	2	2
	交通安全立哨	回	2	2	2	2
環境に配慮した設計・工法の推進		件	2	2	2	2
化学物質使用量の適正管理			必要に応じて使用するため、数値目標は設けず、適正管理する			

※二酸化炭素排出係数 0.459kg-CO2/kWh 中部電力 調整後排出係数（2022年度）

※LPG及び水の使用量については、2013から2022年度の平均値を基準に維持管理項目とする。

※一般廃棄物排出量には、維持管理業務による剪定枝・刈草を含む。

※グリーン購入の推進については、該当品が無い場合があるため、90%を目標とする。

※2023年度（2023年11月1日～2024年10月31日）

## 5. 環境経営計画

2023年度（2023年11月1日～2024年10月31日）

環境方針	取組項目	実施事項	担当
二酸化炭素排出量の削減	ガソリン使用量の削減	エコドライブの徹底を図る	全社
		半年ごとのタイヤ空気圧のチェック	
		効率的なルートで移動する	
	軽油使用量の削減	エコドライブの徹底を図る	現場
		半年ごとのタイヤ空気圧のチェック	
		効率的なルートで移動する	
	電気使用量の削減	空調の温度管理（冷房28℃ 暖房20℃）	事務所
		冷暖房機のフィルター清掃（2回/年）	
		不要照明の消灯（昼休み・残業時・退社時）	
	LPG使用量の削減	適正温度を守る（暖房20℃）	事務所
		消し忘れをなくす	
		暖房機のフィルター清掃（2回/年）	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	分別の徹底	全社
		帳票見直しによる印刷物の削減	
	産業廃棄物	施工計画書（処理計画）に基づき実施する	現場
水使用量の削減	水使用量	常に節水に努める	全社
		漏水を定期的に点検する（1回/2ヶ月）	事務所
		雨水利用による植木の水やり	事務所
グリーン購入の推進	品目数の拡大	事務用品はグリーン購入に配慮する	事務所
地域貢献活動	清掃活動	環境美化の日に合わせて清掃を実施	全社
	交通安全立哨	地域の方々と交通安全立哨に参加	
環境に配慮した設計・工法の推進	提案	屋上緑化・壁面緑化等施工	現場
		環境に配慮した設計件数の増加に努める	
化学物質使用量の適正管理	適正管理	薬剤庫の施錠管理	現場
		薬剤管理台帳への記入（購入・使用）	

## 6.(1)環境経営計画に基づき実施した取組内容

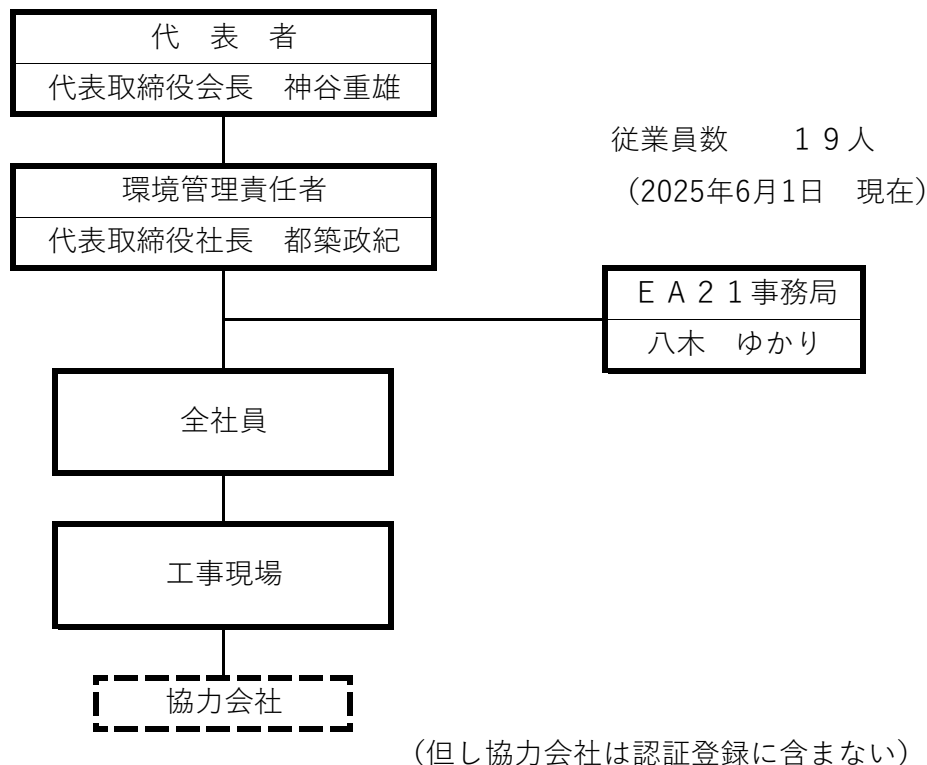
環境方針	取組項目	実施事項	評価
二酸化炭素排出量の削減	ガソリン使用量の削減	エコドライブの徹底を図る	○
		半年ごとのタイヤ空気圧のチェック	○
		効率的なルートで移動する	○
	軽油使用量の削減	エコドライブの徹底を図る	○
		半年ごとのタイヤ空気圧のチェック	○
		効率的なルートで移動する	○
	電気使用量の削減	空調の温度管理（冷房28℃ 暖房20℃）	○
		冷暖房機のフィルター清掃（2回/年）	○
		不要照明の消灯（昼休み・残業時・退社時）	○
	LPG使用量の削減	適正温度を守る（暖房20℃）	○
		消し忘れをなくす	○
		暖房機のフィルター清掃（2回/年）	○
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	分別の徹底	○
		帳票見直しによる印刷物の削減	○
	産業廃棄物	処理計画に基づき実施する	○
水使用量の削減	水使用量	常に節水に努める	○
		漏水を定期的に点検する（1回/2ヶ月）	○
		雨水利用による植木の水やり	○
グリーン購入の推進	品目数の拡大	事務用品はグリーン購入に配慮する	○
地域貢献活動	清掃活動	環境美化の日に合わせて清掃を実施	○
	交通安全立哨	地域の方々と交通安全立哨に参加	○
環境に配慮した設計・工法の推進	提案	屋上緑化・壁面緑化等施工	○
		環境に配慮した設計件数の増加に努める	○
化学物質使用量の適正管理	適正管理	薬剤庫の施錠管理	○
		薬剤管理台帳への記入（購入・使用）	○

○・・・実施できた

△・・・一部実施できなかった

×・・・実施できなかった

## 6.(2)実施体制図及び役割・責任・権限表



役割	担当者	責任・権限
代表者	神谷 重雄	経営における課題とチャンス の明確化 環境経営方針の策定および社内外への周知 実施体制の構築 資源（人員・設備・費用等）の準備 EA21全体の取組状況の評価と見直し・指示
環境管理 責任者	都築 政紀	「環境経営目標」「環境経営計画」の確認 「緊急事態想定訓練」の実施（1回/年） 「環境教育」の計画・開催（1回/年以上） 社内で半期毎に取組評価(内部監査)を実施
E A 2 1 事務局	八木 ゆかり	環境経営システムを構築・運用・維持、状況を代表者に報告 「環境経営目標」「環境経営計画」の原案作成 環境経営目標に関する各記録の管理・保管 環境に関する情報、社内取組状況の揭示 「環境への負荷の自己チェック」の作成（1回/年） 「環境への取組の自己チェック」の作成（登録審査時） 「環境関連法規一覧表」のとりまとめ、見直し（2回/年） 「外部からの苦情等の受付」と必要な対応及び結果の記録 「環境関連法規等の遵守状況の確認」の作成（1回/年） 「問題点の是正及び予防処置結果の報告」の作成 「環境経営レポート」の作成（1回/年）
全社員	_____	「実施及び運用点検表」の配布（毎月） 取り組み実施、実施状況確認・記録・事務局へ提出 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加

## 7. (1)環境経営目標の実績

環境目標		単位	2023年度		目標達成率 (%)	評価
			目標値	実績		
二酸化炭素排出量の削減						
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	32,005	32,534	98.3%	△
1)ガソリン使用量の削減		ℓ	6,237	6,144	101.5%	○
2)軽油使用量の削減		ℓ	4,316	4,567	94.2%	△
3)電気使用量の削減		kWh	12,804	13,116	97.6%	△
4)LPG使用量の削減		kg	146	157	92.5%	△
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	t	256	343	66.2%	×
	産業廃棄物	t	55	4	192.8%	○
水使用量の削減		m <sup>3</sup>	173	135	122.0%	○
グリーン購入の推進（事務用品）		%	90	90	100.0%	○
地域貢献活動	清掃活動	回	2	2	100%	○
	交通安全立哨	回	2	2	100%	○
環境に配慮した設計・工法の推進		件	2	2	100%	○
化学物質使用量の適正管理			—	施錠管理、台帳記入		○

※二酸化炭素排出係数 0.459kg-CO<sub>2</sub>/kWh 中部電力 調整後排出係数（2022年度）

※LPG及び水の使用量については、2012から2021年度の平均値を基準に維持管理項目とする。

※一般廃棄物には、公園管理に伴って発生する剪定枝・刈草を含む。

※2023年度（2023年11月1日～2024年10月31日）

※目標達成率は、削減活動の場合（（目標値－実績）÷目標値＋1）×100。

※評価の基準は、○【達成】、△【ほぼ達成・達成率80%以上】、×【未達成】とする。

但し、やむを得ない事情がある場合は、達成率80%以下であっても △【ほぼ達成】とする。

## 7. (2)環境経営計画の取組結果とその評価

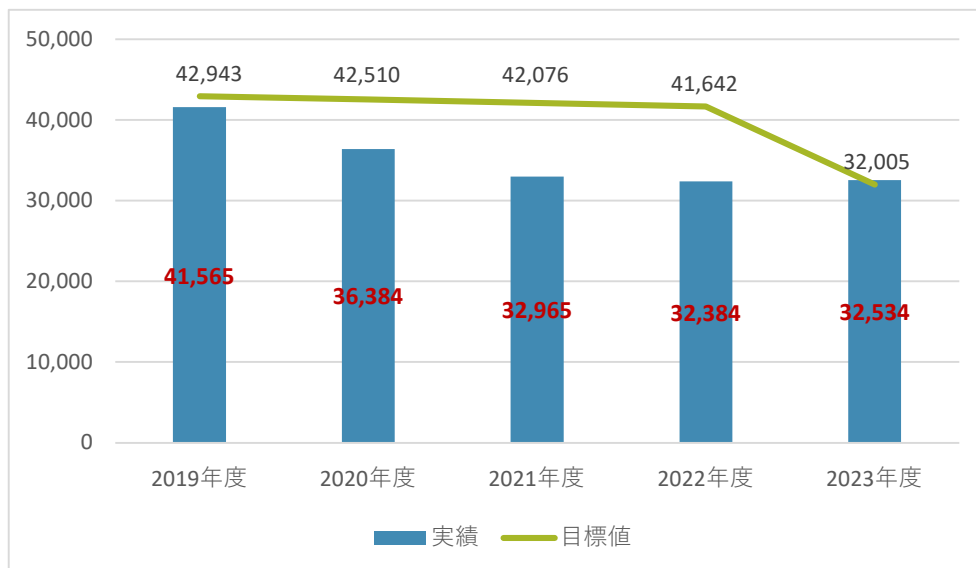
### 【二酸化炭素排出量の削減】

2022年度	2023年度	2023年度		
基準年	目標値（1%削減）	実績	削減	評価
32,328 kg-CO <sub>2</sub>	32,005 kg-CO <sub>2</sub>	<b>32,534</b> kg-CO <sub>2</sub>	-1.7%	△

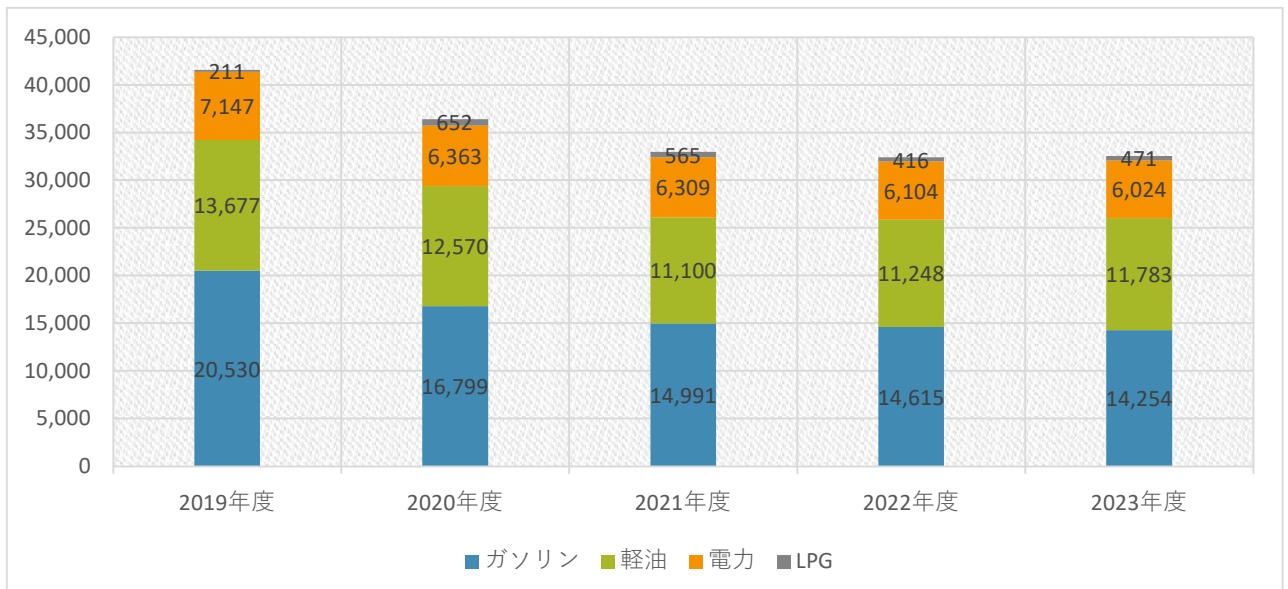
### 取組結果

2023年度の二酸化炭素排出量実績は32,534kg-CO<sub>2</sub>であった。目標1%削減に対し1.7%増加となりを達成することができなかった。過去5年間を比較して、昨年度までは毎年二酸化炭素排出量は削減できていたが、今年度は軽油の使用量が増加による二酸化炭素排出量の増加と考えられる。

#### ■二酸化炭素排出量の推移

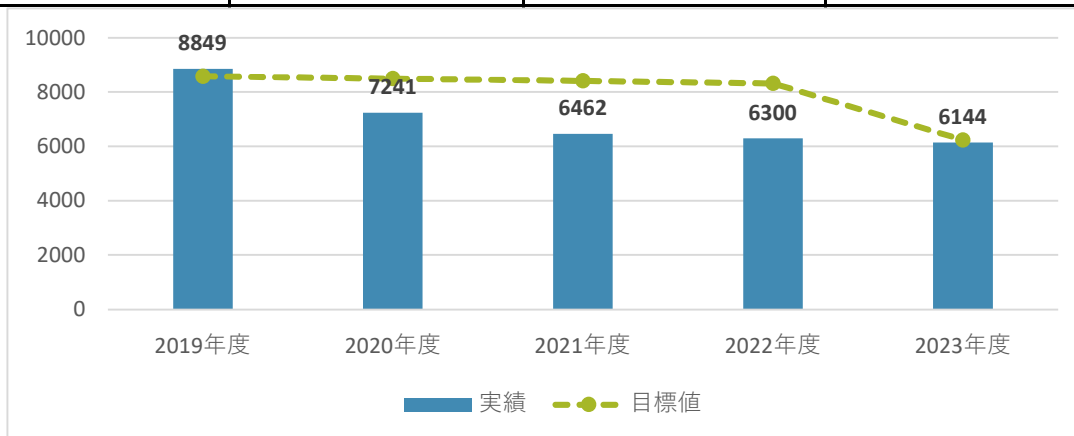


#### ■項目別の推移



## 1) ガソリン使用量の削減

2022年度	2023年度	2023年度		
基準年	目標値（1%削減）	実績	削減	評価
6,300 L	6,237 L	6,144 L	1.5%	○

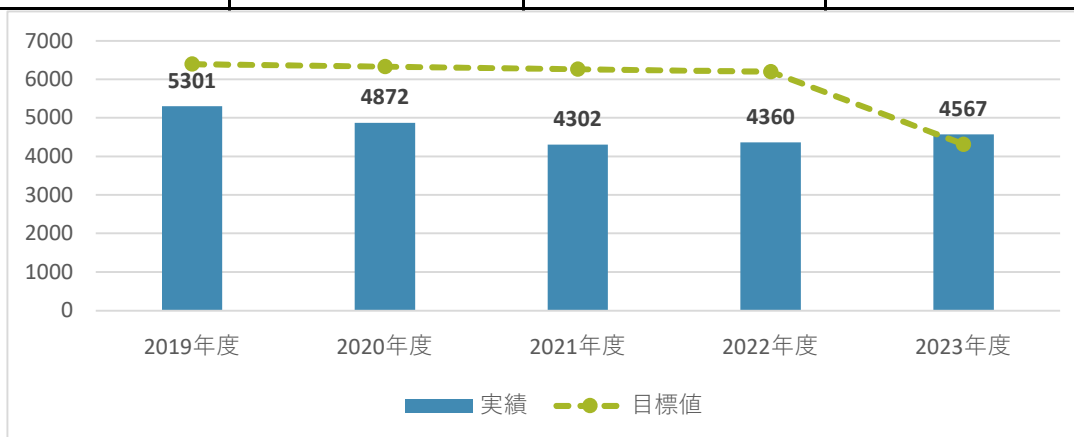


実施事項	評価	取組結果
エコドライブの徹底を図る	○	昨年度の車両削減に伴い使用量が減少した。エコドライブに努め、燃費の良い運転を心掛けていく。
半年ごとのタイヤ空気圧のチェック	○	
効率的なルートで移動する	○	

評価 ○・実施できた      △・一部実施できなかった      ×・実施できなかった

## 2) 軽油使用量の削減

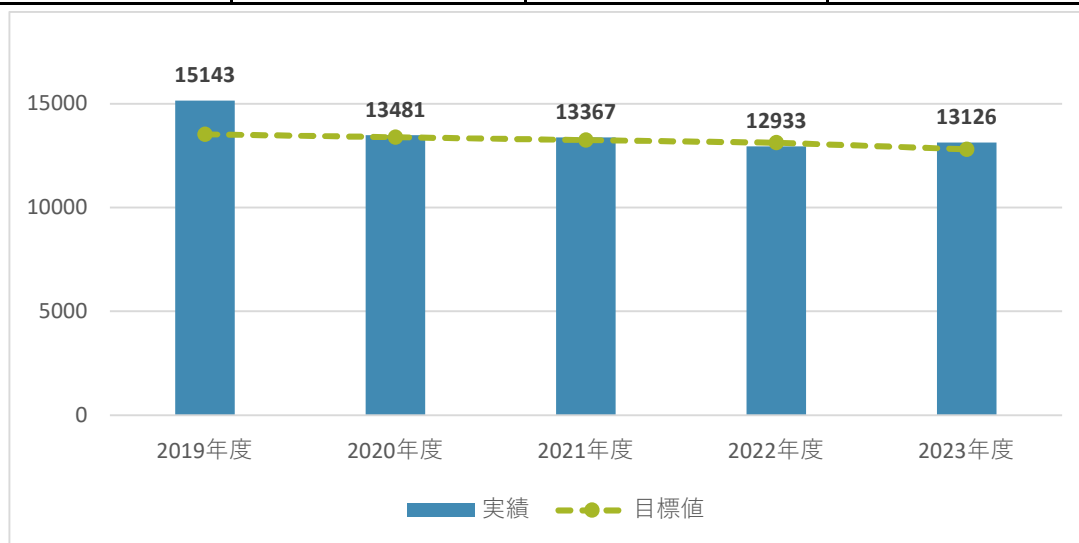
2022年度	2023年度	2023年度		
基準年	目標値（1%削減）	実績	削減	評価
4,360 L	4,316 L	4,567 L	-5.8%	△



実施事項	評価	取組結果
エコドライブの徹底を図る	○	昨年度の車両増加に伴い使用量は微増した。タイヤの空気圧の確認や車内整理等エコドライブに努め、燃費の良い運転を心掛けていく。
半年ごとのタイヤ空気圧のチェック	○	
効率的なルートで移動する	○	

### 3)電力使用量の削減

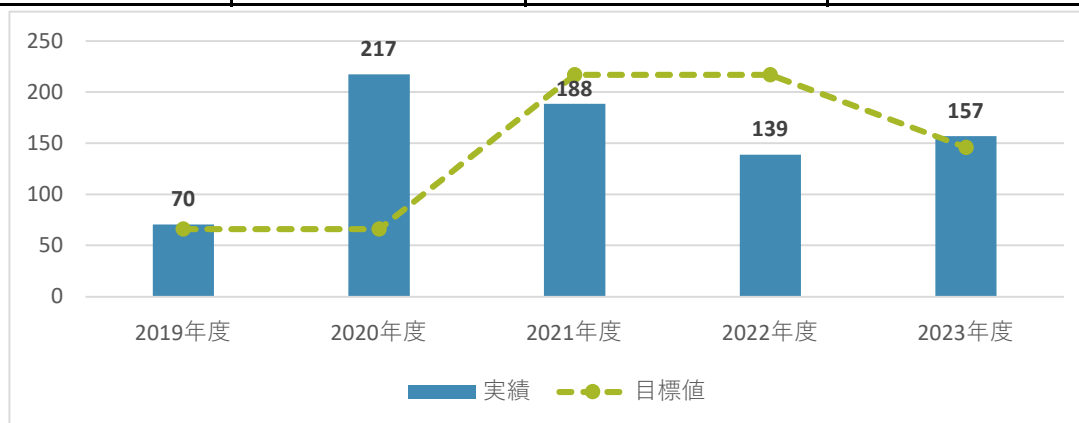
2022年度	2023年度	2023年度		
基準年	目標値 (1%削減)	実績	削減	評価
12,933 kWh	12,804 kWh	<b>13,116 kWh</b>	-1.4%	△



実施事項	評価	取組結果
空調の温度管理 (冷房 28℃ 暖房 20℃)	○	エアコン (温度設定)、不要照明の消灯など活動計画通り実施できた。次年度も継続する。
冷暖房機のフィルター清掃	○	
不要照明の消灯 (昼休み・残業時・退社時)	○	

### 3)LPG使用量の削減 (維持管理項目)

2013~22年度	2023年度	2023年度		
10年平均	目標値	実績	削減	評価
146 kg	146 kg	<b>157 kg</b>	-7.5%	△



実施事項	評価	取組結果
適正温度を守る (暖房 20℃)	○	適正温度を守り、最低限の使用に努める。
消し忘れをなくす	○	
暖房機のフィルター清掃(2回/年)	○	

### 廃棄物排出量の削減

	2022年度	2023年度	2023年度	削減	評価
	基準年	目標値 (%削減)	実績		
一般	259 t	256 t	343 t	66.2%	×
(枝・草)	(276 t)		(248 t)		
産業	56 t	55 t	4 t	192.8%	○

#### 実施事項

#### 評価

#### 取組結果

分別の徹底	○	段ボール、雑誌等の古紙のリサイクルの徹底。コピー用紙の裏紙利用、文章の電子化の推進。 引き続きゴミの分別の徹底、リサイクルの推進を行なっていきたい。
帳票見直しによる印刷物の削減	○	
適正処理を徹底し削減を図る	○	

### 水 使用量の削減

2013~22年度	2023年度	2023年度	削減	評価
10年平均	目標値	実績		
173 m3	173 m3	128 m3	26.0%	○

#### 実施事項

#### 評価

#### 取組結果

常に節水に努める	○	今年度は削減目標値を達成することができた。
漏水を定期的に点検する (1回/2ヶ月)	○	
雨水利用による植木の水やり	○	

### グリーン購入の推進 (事務用品)

品目数の拡大

実績

90%

達成

○

#### 実施事項

#### 評価

#### 取組結果

事務用品はグリーン購入に配慮する	○	継続して環境配慮の商品を選定していく。
------------------	---	---------------------

### 地域貢献活動

活動

実績

2回

達成

○

#### 実施事項

#### 評価

#### 取組結果

清掃活動	○	実施できた。
交通安全立哨	○	

### 推進環境に配慮した設計・工法の推進

施工

実績

2件

達成

○

#### 実施事項

#### 評価

#### 取組結果

緑のカーテンネットの設置	○	2件施工。
--------------	---	-------

### 化学物質使用量の適正管理

適正管理

#### 実施事項

#### 評価

#### 取組結果

施錠管理、台帳記入	○	問題なし。
-----------	---	-------

## 7. (3)次年度の環境経営目標

環境目標	単位	基準年	2024年度	2025年度	2026年度
		2023年度	目標値	目標値	目標値
二酸化炭素排出量の削減					
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	32,534	32,209	2024年度実績の	2025年度実績の
		基準値	- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
1)ガソリン使用量の削減	ℓ	6,144	6,083	2024年度実績の	2025年度実績の
			- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
2)軽油使用量の削減	ℓ	4,567	4,521	2024年度実績の	2025年度実績の
			- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
3)電気使用量の削減	kWh	13,116	12,985	2024年度実績の	2025年度実績の
			- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
4)LPG使用量の削減	kg	144	144	144	144
		10年平均			
廃棄物排出量の削減	t	343	340	2024年度実績の	2025年度実績の
			- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
産業廃棄物排出量の削減	t	56	55	2024年度実績の	2025年度実績の
		※2022年度	- 1 %削減	- 1 %削減	- 1 %削減
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	172	172	172	172
		10年平均			
グリーン購入の推進（事務用品）	%	90	90	90	90
地域活動貢献	清掃活動	回	2	2	2
	交通安全立哨	回	2	2	2
環境に配慮した設計・工法の推進	件	2	2	2	2
化学物質使用量の適正管理		必要に応じて使用するため、数値目標は設けず、適正管理する			

※二酸化炭素排出係数 0.459kg-CO2/kWh 中部電力 調整後排出係数（2022年度）

※LPG及び水の使用量については、2014から2023年度の平均値を基準に維持管理項目とする。

※一般廃棄物排出量には、維持管理業務による剪定枝・刈草を含む。

※産業廃棄物排出量の目標値は、2022年度を基準値とする。

※2023年度（2023年11月1日～2024年10月31日）

## 7. (4)次年度の環境経営計画

今年度の環境経営計画（担当者を含む）を継続する。

取組項目		次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減		当社の二酸化炭素排出量の約8割は、ガソリン・軽油使用から排出されています。エコドライブを意識しガソリン・軽油の使用量を少しでも抑える活動が必要だと考えます。電力使用量については、今できる対策はすでに行っています。無理なく、無駄なくを意識し全体の二酸化炭素排出量の低減を目指します。
1)ガソリン使用量の削減		車両の買い替え際は、できる限り低公害車、低燃費車等の購入を進める。 新入社員向けに、エコドライブ教育の実施を、エコドライブの徹底を図る。
2)軽油使用量の削減		車両の買い替え際は、できる限り低公害車、低燃費車等の購入を進める。 新入社員向けに、エコドライブ教育の実施を、エコドライブの徹底を図る。
3)電気使用量の削減		すでに、省エネタイプのアコン、照明器具に切り替え済みのため、大幅な削減は難しいが、今後も休み時間の消灯による節電や空調の温度調節を徹底し行う。
4)LPG使用量の削減		最低限の使用に努める。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	混合廃棄物排出量を抑制の為、現場でのフレコンなどの活用による分別回収の適正処理を徹底し削減を図る。
	産業廃棄物	
水 使用量の削減		今年度同様、節水・漏水の注意喚起を行うと同時に、全員が日常的に節水を心掛けることで、水の使用量を抑えるように取り組みを継続する。
グリーン購入の推進（事務用品）		事務用品、備品は、グリーン購入を推進する。
地域貢献活動	清掃活動	引き続き活動を推進する。
	交通安全立哨	
環境に配慮した設計・工法の推進		受注案件毎の環境配慮型工事設計の提案に取り組む。
化学物質使用量の適正管理		適正に管理する。

## 8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

### 1. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規		遵守状況
・ 廃棄物処理法	・ 産廃業者との契約締結、マニフェスト管理 ・ 処理業者、処理施設の現地確認（年度初め、2社） ・ 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 ・ 産廃収集運搬車両の表示、有効期限の確認	遵守
・ 建設リサイクル法	・ 分別解体の励行と再資源化	遵守
・ 家電リサイクル法	・ 対象機器のリサイクル券による処分	該当なし
・ 自動車NOX・PM法	・ 使用車種規制	遵守
・ フロン排出抑制法	・ 適正な引き渡し ・ 四半期に1回以上の簡易点検	遵守
・ 騒音・振動規制法	・ 該当する工事の届出、規制値の遵守	遵守
・ アイドリングストップ	・ 駐停車時のアイドリングストップ	遵守
・ 毒物及び劇物取締法	・ 保管施設の施錠／漏洩防止	遵守

### 2. 訴訟等の有無

- ・ 当社の環境関連法規制等、遵守状況の結果違反はありません。
- ・ 過去3年間、関係機関及び利害関係者からの指摘、苦情、訴訟等ありません。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

### 全体評価

	結果
環境への取組は適切に実施されているか	適切である ・ 適切でない
環境経営システムが有効に機能しているか	有効に機能している 有効に機能していない

### 見直しの結果

	変更の必要性	見直しの内容
環境経営方針	必要 ・ 不必要	特になし。
環境経営目標	必要 ・ 不必要	特になし。
環境経営計画	必要 ・ 不必要	S(安全)、E(環境)、Q(品質)マネジメントシステムの更なる徹底。
実施体制	必要 ・ 不必要	特になし。

### 指示事項

二酸化炭素排出量を削減するよう取組を続ける。